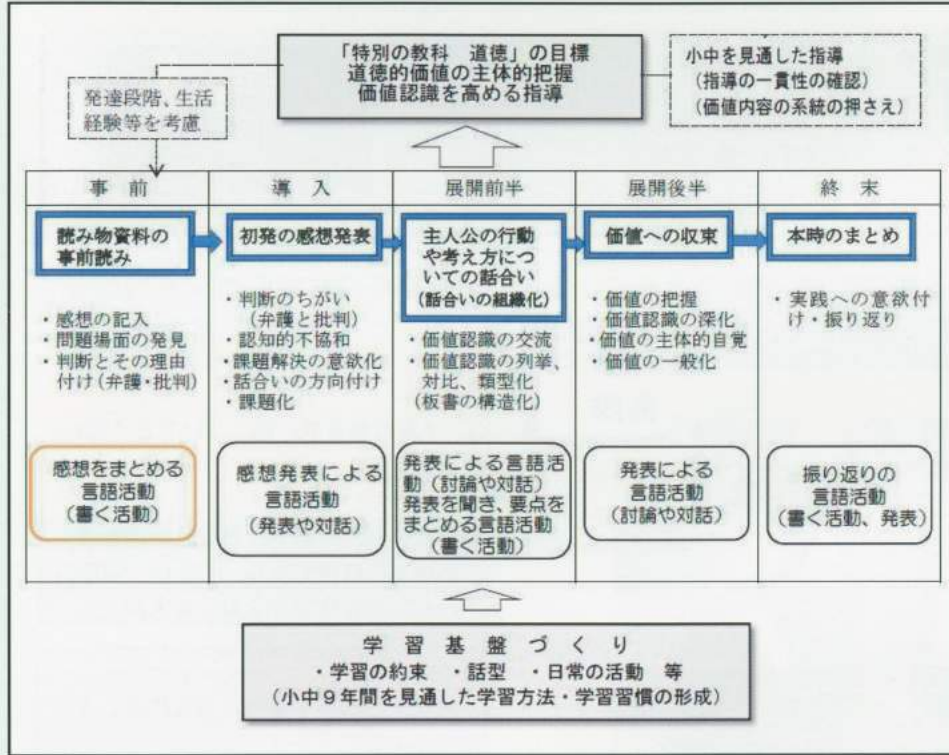


小中連携による道徳の授業研究の取組

小学校と中学校の道徳の授業を同じ日に設定し、互いに授業を参観し合い、合同の研究会で質疑や意見交換を行いながら、授業力を高め合っています。授業を参観する際には、道徳授業参観用紙を活用し、自分の授業と比べながら記入をして、研究会での協議に活かしています。

小中連携による言語活動を位置付けた道徳の授業構想



小中連携による道徳授業の取組



小中合同道徳授業研究会の様子



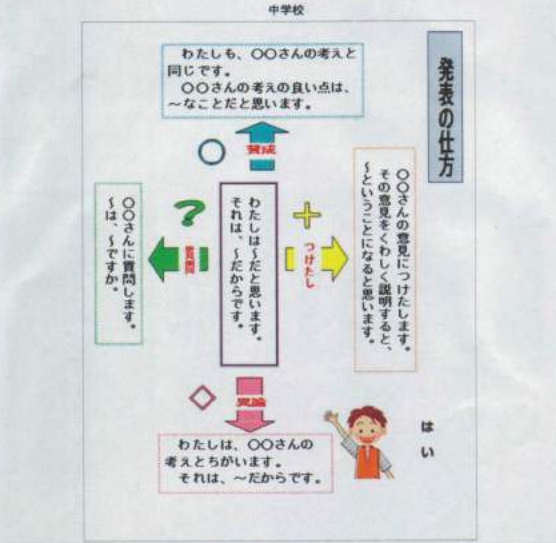
小中で確認した授業の約束と話型

(1) 9年間を見通した学習習慣の形成

① 授業の約束
学習習慣について小中から挙げられた課題の中から、次の3点を重点として指導を継続することとした。

	小学校	中学校
授業の挨拶	目を見て 元気に	大きな声であいさつする
返事	はいっ!	指名されたら「はい」と返事をする
姿勢	ピン ベタ グー	背筋を伸ばして座る

② 話型
発達段階に合わせて基本的な話型を表を作成し、授業の発表場面で活用している。



研究に関わる教師用アンケート例

研究に関わる教師用アンケート (小学校の先生方用)

※ 研究紀要に記載するための資料としますので、全員ご協力をお願いします。

研究主題
～言語活動を活かした道徳授業の研究
～話し合いの組織化の工夫を中心として～

- 研究の成果と思われることを、3つ程度書いてください。
学習単元の工夫や話し合いの形態を、発達段階によって効果的であろうものをあきらかにし、指導過程や授業の進めかた、反省もふまえて自分の考えを積極的に話すように、登場人物の気持ちや行動理由などを書かせることで、自分の考えを整理し、じっくり考えることが出来るようになった。
- 研究の課題と思われることを、3つ程度書いてください。
*・教材文の発想を述べた後の展開、児童の考えをどう扱うのかに悩んでいる。
・指導過程の時間配分。
・いろいろな発表の方法。*
- 研究を通して、言語活動(討論や話し合い活動、書く活動)が生徒の道徳性を高めるのに効果があると感じたことについて書いてください。
学習シートに自分の立場を月5分たして理由をまとめて書くことで、自分の考えを自信を持って伝えることができた。友達の見解と聞いて比較したり、他意理由を高めたりすることで、道徳性も高まっていくと思ふ。
- 話し合いの組織化についての研究を進めてみて、明らかになったこと、課題を感じていることなどを書いてください。
話し合いの進めかたについて共有されたりする。発問の吟味も含めて、児童の考えが活発になり、深まっていく。話し合いの組織化の工夫を考えると、資料が、限定されてくる気がする。
- 小学校から見て、中学校の道徳授業の取り組みについて感じられたことを具体的に、お書きください。
思春期なので小学校のように積極的な発言は難しいと思う。しかし、先生が、一人一人の考えを把握し、発言を組み立てて授業を進めているところが素晴らしいと思ふ。
- 中学校の道徳の取り組みから学んだり、実際に授業に生かしたことがありましたら、書いてください。
資料を事前に読み、感想を書くことか覚えている。判断と理由を各人しっかりと持ち、授業の途中で自分の考えを整理して、学習シートが整理しており、生徒は、自分の考えを聞き取った後、振り返りで、自分の成長を感じることができている。
- 研究を通して、感じたことがありましたら自由に書いてください。
小学校から中学校までの児童や発達段階を見学してみた。2つの授業もあり、興味があった。

平成27年度 道徳教育啓発リーフレット



学校の教育活動全体で取り組むという観点から、校長の方針の下、学校の重点や方向性について共通理解し、道徳教育推進教師を中心とした組織的で一貫した推進体制により、道徳の時間を要とした道徳教育の充実を図り、豊かな人間性を育みましょう。

道徳教育の充実のために大切にしたい5つのポイント

学校組織としての取組の充実

○校長の明確な道徳教育の方針の下、道徳教育推進教師を中心とした機能的な推進体制を構築し、学校組織として道徳教育を推進するとともに研修の充実を図ること

魅力ある道徳の時間の計画的な実施

○児童生徒の心に響く魅力的な教材の開発・選択や「私たちの道徳」の活用、発問や話し合い、書く活動等、創意工夫のある指導を行うことにより、道徳的価値への理解とともに、自己を見つめ自己の生き方や人間としての生き方についての考えを深めることができるようにすること

○家庭や地域の方に授業を公開するなどして学校の道徳教育の方向性を知らせるとともに、道徳教育や道徳の時間への協力を求め、共に児童生徒の道徳性を育てていくようにすること

活用しやすい全体計画、指導計画への改善

○全体計画の改善に当たっては、道徳教育に関わる各教科等の指導や体験活動等の内容及び時期が分かるものを別葉として加えるなど、年間を通して具体的に活用できるものにする

○年間指導計画の改善に当たっては、学校の道徳教育の重点を踏まえるとともに、展開の概要も含めるなど各時間の指導の概要が分かるものにする

「いわての復興教育」の教育的価値を踏まえた道徳教育の推進

○「いわての復興教育」(いきる・かかわる・そなえる)の教育的価値を踏まえた道徳教育を推進し、特色ある道徳教育を進めることで、児童生徒の「道徳的な判断力」、「心情」、「実践意欲と態度」などの道徳性をより一層養うこと

一部改訂された学習指導要領への理解と「考える道徳」「議論する道徳」の充実

○一部改訂された学習指導要領への理解を深めるとともに、問題解決的な学習や体験的な学習も取り入れるなどして、改訂の趣旨を踏まえた授業改善の取組を進めること

教科化に向けた道徳授業の取組（言語活動を活かす工夫）

効果的に書いたり、発表したり、話し合ったりする言語活動の工夫を取り入れ、多面的・多角的な見方を養い、道徳的価値について考えを深める授業を構想しました。

【滝沢市立一本木中学校の実践より】

【研究主題】 言語活動を活かした道徳授業の研究 ～話し合いの組織化の工夫を中心として～

3つの工夫を取り入れて行った授業の実践

書く活動の工夫

授業学年：2年
 主題名：誠実な生き方
 資料名：『二丁目の自動販売機』
 内容項目：「自主、自律、自由と責任」A-1



道徳学習シートを活用し、書く活動を中心に、自分の考えをまとめて発表できる授業づくりを構想

① 10円で品物が手に入れられる自動販売機を見てみたいと考える主人公をどう思いますか？

発問

② 二丁目が近づくにつれ、自転車が重いおもりを引きずっているような気持ちになったのはどうしてだろう？

【中心発問】
 明が自動販売機の前に入ったとき、両手が鉛のように重く感じたのはどうしてだろう？



道徳学習シートへの記入



生徒の記入例

●自分と違う判断の人の理由をメモしましょう。
 ・やってみたいという気持ちになり
 ・誰かにも見られたら...
 ・悪いことわかってるから、
 ・自分も悪い気持ちが出てきてはいる
 ・管理責任は負ける

自分がわかるからやらないかをキリキリとまよって、それで悪い事だと分かると、やってみたいという気持ちもあるから、両手が重く感じたのだと思う。

中心発問に対する生徒の反応

- 興味をもってしまったことへの過ちに、気がついたからだと思う。
- 自分の心では悪いことだと思っているが、親友の誘いを断れなくなってしまったから。
- 悪いことへの罪深さを感じたから。



話し合いの組織化の工夫

授業学年：3年
 主題名：人間の弱さや醜さの克服
 資料名：『足袋の季節』
 内容項目：「よりよく生きる喜び」D-22



主人公の行動に対する考えについて、批判派と弁護派に分かれて交流するなど話し合いの組織化を行い、協同的に討論させる授業づくりを構想

① 「五十銭玉だったね」と言われて、思わず「うん」とうなずく主人公をどう思いますか？

発問

② おばあさんの死を知ったとき、主人公がむしょくに自分に腹が立ったのはなぜだろう？

【中心発問】
 「おばあさんがくれた心」とは、どういう心だろう？



弁護派の意見

【弁護派の主な理由付け】
 ・貧乏だったから仕方がない。
 ・足の冷たさから思わず...
 ・おばあさんの気持ちを受け取った。
 ・足袋がほしいという弱い気持ちに負けてしまった。

批判派の意見

【批判派の主な理由付け】
 ・盗んだことと同じだから。
 ・おばあさんだって貧しいのに...
 ・老人をだましている。
 ・違うと知っていて、嘘をついたから。
 ・ごまかしてもらうのはよくない。

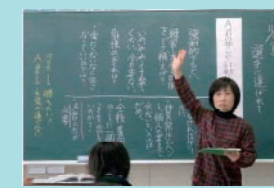
中心発問に対する生徒の反応

- 自分が損をしても、相手のためにしてあげる気持ちだと思う。
- 自分よりも他人のことを思ってあげる優しい心だと思う。
- 困っている人だろうが誰だろうが、助けようとする博愛の精神だと思う。



異なる価値認識の交流の工夫

授業学年：1年
 主題名：権利と義務
 資料名：『選手に選ばれて』
 内容項目：「遵法精神、公德心」C-10



異なる価値認識を交流させることで、道徳的価値を多面的・多角的な視点から捉えさせ、自分の価値認識を振り返らせる授業づくりを構想



発問

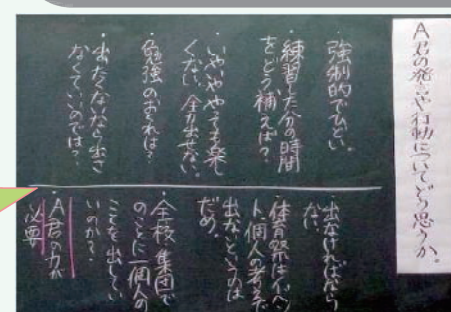
① A君の発言や行動についてどう思いますか？

② 「いったん選手に選ばれた以上は、出場する義務がある。」という学級のみんなの意見をどう思いますか？

【中心発問】
 対立する意見を解消させるには、どうしたらよいだろう？

判断やその理由付けの違いを分類するなどの工夫を行うことで、視覚的に考え方の違いを明確化する。
 他者の意見と自分の意見がどのような関係にあるかを考えさせ、多面的・多角的に考えることができるようにする。

意見の違いを板書で分類



中心発問に対する生徒の反応

- A君のことを、学級のみんなが期待して選んだのだから走ってほしい。勉強が遅れた分はみんなで教えてあげればいいと思う。
- A君の練習の時間を少なくして、勉強する時間をあげればいいと思う。
- 選挙や別の方法で決め直せばいいと思う。

